

松戸こども新聞

活動の報告

「グループワーク」



1 最初は顔合わせ、自己紹介を行いました。
「得意なこと、夢になっていること」をテーマに個人ワーク・発表をしました。

2 4つの班に分かれて、現状の確認や解決すべき課題、問題点を話し合いました。色々な意見をまとめるのは難しかったですが、協力して乗り越えました。

3 提言に向けて、班ごとに模造紙にまとめ発表原稿を作成しました。発表練習も行い、他の班の発表を聞いて刺激を受け、よりよい成果物が完成しました！

非行防止キャンペーンに参加しました

令和4年10月22日(土)に松戸駅・新松戸駅前広場において非行防止キャンペーンに参加しました。非行防止のティッシュを配り、青少年健全育成のための啓発活動を行いました。

活動を通しての感想

- ① 今まで、違う学校の人と交流する場面が少なかったため、最初は緊張しましたが、交流していくうちに、知らなかったことに気づくことができ、毎回とても楽しかったです。
- ② 委嘱式では、これからの活動に不安を感じていましたが、グループワークを通して仲間と考え、発言し形にする楽しさを改めて実感し良い経験となりました。
- ③ 知らない人の中で話す力や物事をまとめる力がつきました。また、市という大きな規模で考えることで新しい発想が出て、楽しかったです。
- ④ こどもモニターに参加して、たくさんの人とコミュニケーションがとれて、自分と話が合う人が見つかって、すごく楽しかったです。
- ⑤ 難しいテーマでも、皆で協力し合うことで素晴らしいものが完成し嬉しかったです。

こどもモニターの意見が反映された 青少年プラザがオープンしました!!

令和3年12月に東松戸複合施設内に中高生世代の子どもの居場所「青少年プラザ」がオープンしました。
勉強・音楽・ダンス・卓球・読書・・・使い方はそれぞれ、自由に使える居心地のいいスペースです。先輩こどもモニターに提言してもらった内容をもとに、自習室や音楽スタジオがつけられました！



私たちが活躍できるまち “まつど” を目指して!

第49期
こどもモニター
が考えた

私たちが活躍できるまち!

松戸市を私たちが活躍できるまちにするには、どうすればよいでしょうか？
私たちはグループワークを通して仲間や友人が増え、好きなことを学べる場や活躍を発表する機会があれば、「いきいきと活躍できるまち」になるのではないかと考えました。
「発表の場がほしい」「自分を磨きたい・高めたい」「子どもだけで遊べる・学べる場がほしい」「仲間を作りたい」の4つの班に分かれて、意見を出し合い考えてきました！
その内容をご紹介します！

提言に向けてグループワークの実施

子ども夢フォーラムでの提言に向けて、7回のグループワークを行いました。それぞれのメンバーが得意なことを活かし、役割分担することで、短い時間でもスムーズにまとめることができました。グループワークでは、仲を深めるとともに、人との関わり合いや、意見を伝えることの大切さを改めて感じました。

こどもモニターってなあに?



市長より委嘱を受け、子どもの意見を市の政策や事業に反映させることを目的に活動します。第49期のメンバーは小学6年生7名と中学2年生21名の合計28名です。今年度は、「私たちが活躍できるまち “まつど” を目指して！」をテーマに、活動してきました。

子ども夢フォーラムで市長へ提言

3月に子ども夢フォーラムで、1年間の活動紹介と今年度のテーマについての提言をしました。
私たちは自分たちが考えた意見が、松戸市で実現されることを期待しています。



子ども夢フォーラムとは?

学校活動のみならず、スポーツや文化芸術活動など多方面で活躍する子どもたちの表彰や活動紹介を通じて、すべての子どもの「夢」の実現を地域全体で支援することを目的に開催しているイベントです。



各班的テーマ紹介



「発表の場がほしい」



自分たちの好きなこと、得意なことを発表することによって、仲間を増やしたり、アドバイス・評価を得て新たな目標設定をしたり、達成感を味わうことができる。

「音楽」「写真」「美術」の分野は運動部よりも評価してもらえる場所が少なく感じる
ので気軽に発表できる場がほしい

- ・ストリートピアノを設置し、気軽にピアノを発表したい
- ・中高生バンドや吹奏楽部が自由に発表できるステージを作りたい
- ・人が集まる公共施設に写真展示ができるスペースがほしい

たくさんの人に聞いてもらう、見てもらう

同じ趣味の仲間が増える → 仲間同士でアドバイスし合える



- にぎやかなまちになる
- 自分の成長を評価してもらえる
- モチベーションアップ
新しい目標を設定

私たちが活躍できるまち

「子どもだけで遊べる、学べる場がほしい」

子どもだけで遊べる、学べる場を充実させることで、私たちがいきいきと過ごすことができる！

遊び・学びとは？
遊びとはみんなが楽しいと思えるもの
学びとは人が成長するのに必要なこと

交流とは？
交流するとは人とコミュニケーションをとること

気軽に地域の人と交流したり
子どもだけで学んだり遊べる場所がほしい



市内に子どもだけで交流できる場所が少ないので、子どもだけで遊べる・学べる場をつくりたい。

- 屋内**
 - ・先生常駐の勉強を教えてもらえるスペース
 - ・折り紙や工作などを教え合う講座
- 屋外**
 - ・子どもが自由に使えるバスケットゴール、テニスコート
 - ・ボールが利用可能な走り回れるスペース
 - ・子どもの付き添いの方が待機できる待機室
(保護者に遊んでいる様子を見守ってもらい安全面の不安を解消)



「自分を磨きたい、高めたい」

「まつど」を目指して！

「仲間をつくりたい」



自分を磨くことで将来に向けての自信が生まれ、視野が広がり、選択肢が増え、新しい趣味や特技の習得にもつながる。

自分を高めるために、場所・指導者・道具・仲間を充実させた空間がほしい

スポーツ・芸術・音楽・勉強・・・どの分野を磨きたい、高めたい人が来ても満足できる空間を！



場所
グラウンドやアトリエ、展示スペース、音楽を通じて他の人と交流できるスペース、勉強を教え合ったりコミュニケーションをとれる勉強スペース

指導者
その分野が得意な大人やコーチ、専門家がいます。指導者がいることで正式なルールの中で安全にプレーや作業ができ、様々なリスクに対応することができます。

道具
ラケットやスパイク、工作用具、楽器などのしっかりとした道具。その分野の必要なものを持っていない人でも、気軽にいつでもプレー、作業できるような環境がほしい

仲間
一緒にプレー、共作。各分野の仲間が集まることで、友達を誘わなくても一人で練習できる。発表会やコンテストの実施。国際交流を盛んにしたり、コンピューターやICTも活用していく。

自分を高めたい

仲間をつくり増やすことで、人との関わりが増えて毎日がたのしく！
仲間をつくれるようなイベントを実施したい



メリット
悩みを打ち明けられる。
理解し合える人との関わりが増え、人生が豊かになって楽しい。

「イベント」による仲間作りをしたい。
イベントは作る側と行く側に分けられる。作る側に関しては話し合いや作製を重ねるごとに仲が深まり、成功したときに達成感を味わえる。行く側は、歳の違う人とも交流ができ、一緒に楽しむことで仲間が作れる。
イベントを開催することで、人との関わりが活躍の場が増える！

こんなイベントをしてみたい！

お店の運営とお客さんに分かれ、子どもだけでお祭りを開催！
お金は手作りのものを用意する。ヨーヨーすくい、小動物とふれあうコーナー、手作りアクセサリー・おもちゃを販売する。小さな子から中高生まで幅広い年齢が楽しめるお祭りを開催すれば、たくさんの仲間ができるきっかけになる！

